

お洒落なお店の防災対策の第1歩



ブティック2.C.V (ドゥーシーボー)

業種	所在地	代表者名
メンズ・レディース服 専門セレクトショップ	富士吉田市	遠藤 真
設立年月	従業員数	
昭和58年4月	0名(令和6年7月時点)	
ホームページ		
https://deuxcv-2cv.wixsite.com/deuxcv		

1 会社・事業の概要

実質経営者は後継者である長男。セレクトショップとして常に心掛けているテーマは「ビンテージモダン」。クラシック、トラディショナルなアイテムを現代風にアレンジしております。客層は30～50代を中心に60代まで幅広くご来店いただいております。

2 計画策定のきっかけ

漠然と何か対策をしなければならないとは感じていたが、何をして良いか分からず多忙もあり放置していた。そんな折、富士吉田商工会議所から本事業を紹介されて策定にいたった。

今までやりたくてもできなかったが、この機会に専門家のアドバイスを受けてようやくできるので、しっかりとした計画を策定し、お客様にもアピールできるものを目指した。災害が起こった時にまず何をしたらいいのか整理しておくことで万が一の際にも落ち着いて行動できるようにした。



3 計画策定の取組について

接客業なので感染症対策には苦勞しましたが、来店時の人の動線を一方通行にしてお客様同士の接触を減らすことや通信販売事業の充実化を図る等に対応しました。

4 計画に基づく実施状況

- ・市の防災訓練への参加
- ・災害時に事業継続に必要な資金と実際に調達可能な資金額を算出し調達方法を整理することができた。

5 計画策定の効果

インターネットのセキュリティを強化

6 今後の取り組み

通信販売も行っておりサイバーリスク対策を強化していきたいと感じています。セキュリティを強化してもリスクを100%回避できるものではないので、保険加入等も検討していきたいと思っています。

7 計画を策定した感想

富士北麓地域は噴火リスクをイメージしますが、自然災害以外にもサイバーや感染症の脅威について考えるきっかけとなりました。特にサイバーリスクについては小さな企業には必要ないと思っていましたが、事前にしっかりと対策をたてておく必要があることを実感しました。

今回策定した計画をもとに、できるところから少しずつ防災や減災の対策に取り組みたいです。

8 計画策定を検討されている事業者に対してのアドバイス、メッセージ

自分たちの住んでいる地域のリスクはどのくらいあるのかを知ることから始まり、命の安全確保や事業を再開するために必要なことを整理して事前準備ができたことは安心感に繋がりました。小さな事業者には必要ないと考えがちですが、災害はどの事業者にも同じように降りかかってくるものなので計画を策定してよかったと思います。

9 策定支援機関から一言

計画策定にあたって実質経営者である長男を中心に行なったが、大変熱心に取り組んでいた。

当所管内地域は富士山のお膝元であり、その噴火リスクも相当懸念されているが、会員事業所の防災意識が全体的に低いため、本計画策定の周知・支援に注力していきたい。

(富士吉田商工会議所
産業振興課 栗原)

